

## 前回小委員会以降の経過報告

## 前回小委員会（4/16）

- 市民への意見募集結果について報告し、クロス集計の充実等の意見が出された。
- 市街化調整区域における土地利用の基本的なあり方（中間報告素案）について協議し、基本方針（骨太の方針）と規制誘導手法の検討方向について確認された。以下のような意見が出された。
- ・農空間保全地域指定（府条例）を活かした、農地保全の取組への期待。
  - ・農地転用を契機とした景観などでの協議・指導の可能性。
  - ・地区計画活用の前提としての土地利用計画の必要性、あるいは、個別の地区ごとの参加型まちづくり支援との関係づけなどについて、意見が出された。

## 前回都市計画審議会（5/21）

- 中間報告案として了承された。
- 今後の進め方等について以下のような意見が出された。
- ・農業施策の充実、農業施策に関する部局間連携の必要性。
  - ・基本は開発抑制としつつ、全市的に必要なものへの対応も考慮しておく。
  - ・市民意向、地権者意向、地区特性を十分勘案する。 など

## 中間報告の公表、及び意見募集（7月）

- もみじだより7月号に特集記事を掲載。
- 検討対象地区（6地区）の土地所有者へ中間報告の概要版（A3版両面）を送付。

## 地元意見交換会（7/9～16、計4箇所にて開催）…（詳細は資料6参照）

- 市内4箇所にて、検討対象地区（6地区）の土地所有者を対象に今後の検討にむけた、地区の状況についての聞き取りを行った。（中間報告の内容についても説明）
- 地区の状況に応じて意見は多様であり、例えば次のような意見が出された。
- ・農地維持について、営農環境整備や営農支援、特に後継者確保の問題が重大。
  - ・都市的土地利用が増えている区域では、周辺農地や農業用水への迷惑などが問題。
  - ・土地の条件に応じて、住宅など都市的土地利用を認めるべき。 など